

---

# 2011年度第3四半期決算説明資料

2012年2月14日

NKSJホールディングス株式会社

■ 2011年度第3四半期連結決算概況	2
■ 第3四半期 vs 通期予想	3
■ 主要損保2社単体の第3四半期決算概況	4
■ 正味収入保険料	5
■ 正味損害率	6
■ 東日本大震災の影響	7
■ <参考>自動車保険の事故受付件数	8
■ 正味事業費率	9
■ 資産運用損益	10
■ 運用資産の状況	11
■ 有価証券評価損	12
■ 政策株式、GIIPSエクスポージャー	13
■ 国内生保事業	14
■ 海外保険事業	15
■ 純資産の状況	16
■ 2011年度通期業績予想概況(NKSJ連結)	17
■ 通期業績予想概況(主要損保2社単体)	18
■ 通期業績予想の前提(主要損保2社単体)	19
■ 通期業績予想(タイ洪水)	20
■ 通期業績予想(法人税率引下げ影響)	21
■ 通期業績予想(主要損保2社単体・正味収入保険料)	22
■ 通期業績予想(主要損保2社単体・W/P損害率)	23
■ 通期業績予想(修正連結利益)	24

# 2011年度第3四半期連結決算概況

- ◆ 第3四半期は大幅赤字。要因は、①タイの洪水、②有価証券評価損、③法人税率引下げ。
- ◆ 通期業績予想（1月27日開示済み）は修正なし。

(単位:億円)

	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減
経常収益	20,020	21,143	+1,122(+5.6%)
正味収入保険料	14,654	14,969	+315 (+2.1%)
生命保険料	1,714	1,825	+111 (+6.5%)
経常利益(注)	459	△1,306	△1,766
国内損害保険事業	486	△1,081	△1,567
国内生命保険事業	△32	△59	△27
海外保険事業	17	△170	△187
その他	△11	5	+16
当期純利益(注)	248	△1,469	△1,717
国内損害保険事業	281	△1,187	△1,469
国内生命保険事業	△33	△165	△132
海外保険事業	10	△120	△131
その他	△10	4	+15

(単位:億円)

2011年度 通期業績予想	28,080
修正なし	△450
1月27日 開示済み	△1,000

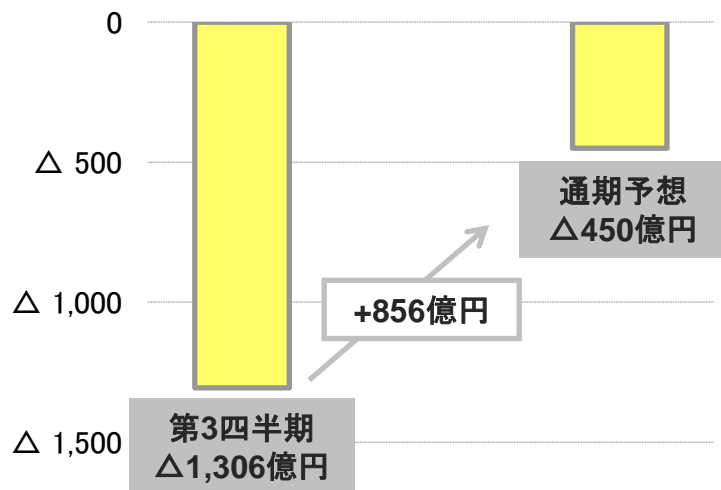
(注) 経常利益、当期純利益は、連結調整後(当社持分)の金額

# 第3四半期 vs 通期予想

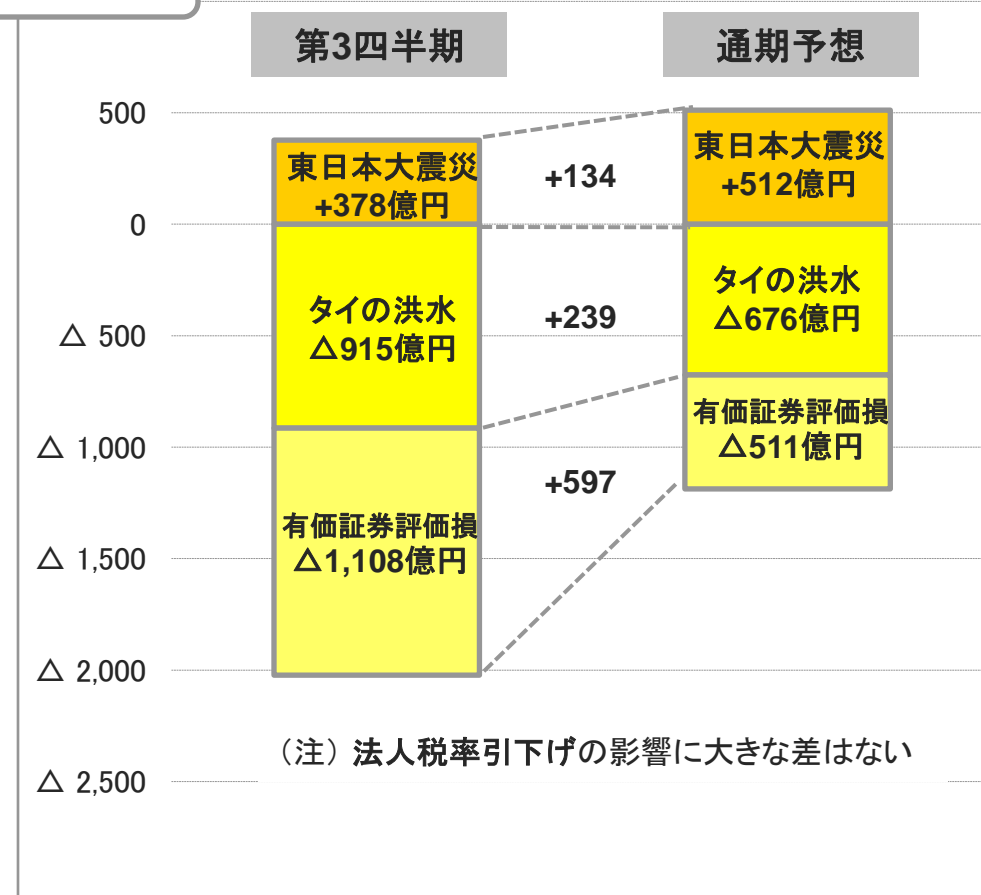
通期では第3四半期よりも損失幅縮小の見込み

- ◆ 東日本大震災、タイの洪水に係る保険金支払いが進捗 ⇒ 異常危険準備金取崩しの増加
- ◆ 有価証券評価損の前提の違い（日経平均水準：第3四半期末 8,455円 通期予想前提 8,988円）

## 連結経常利益



## 主な内訳



# 主要損保2社単体の第3四半期決算概況

(単位:億円)

	損保ジャパン		
	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減
正味収入保険料	9,533	9,633	+100(+1.1%)
（除く自賠償）	8,274	8,319	+44(+0.5%)
正味損害率	71.2%	79.7%	+8.6pt
（除く金融保証損失*1・自賠償）	62.9%	76.5%	+13.6pt
正味事業費率	33.5%	33.1%	△0.5pt
（除く自賠償）	34.6%	34.4%	△0.2pt
コンバインドレシオ	104.7%	112.8%	+8.1pt
（除く金融保証損失*1・自賠償）	97.5%	110.9%	+13.4pt
保険引受利益	224	△269	△494
資産運用粗利益	249	29	△219
経常利益	397	△231	△628
当期純利益	249	△531	△780

	日本興亜損保		
	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減
正味収入保険料	4,717	4,771	+54(+1.1%)
（除く自賠償）	4,153	4,182	+29(+0.7%)
正味損害率	68.3%	86.1%	+17.7pt
（除く金融保証損失*1・自賠償）	63.8%	84.2%	+20.4pt
正味事業費率	35.4%	34.6%	△0.8pt
（除く自賠償）	36.7%	36.1%	△0.6pt
コンバインドレシオ	103.8%	120.7%	+16.9pt
（除く金融保証損失*1・自賠償）	100.5%	120.3%	+19.8pt
保険引受利益	△1	△330	△329
資産運用粗利益	201	205	+4
経常利益	166	△100	△267
当期純利益	98	△252	△351

## 【参考】修正利益

当期純利益	249	△531	△780
+) 異常危険準備金繰入額(税引後)	75	△127	△202
+) 価格変動準備金繰入額(税引後)	15	△84	△99
-) 有価証券売却損益・評価損(税引後)	△22	△150	△128
-) 特殊要因(税引後)*2	-	△314	△314
修正利益	361	△279	△640

当期純利益	98	△252	△351
+) 異常危険準備金繰入額(税引後)	△3	△169	△165
+) 価格変動準備金繰入額(税引後)	14	12	△1
-) 有価証券売却損益・評価損(税引後)	19	34	14
-) 特殊要因(税引後)*2	-	△148	△148
修正利益	89	△295	△384

\*1 除く金融保証損失は損保ジャパンのみ

\*2 特殊要因は法人税率引下げの影響

# 正味収入保険料(主要損保2社単体)

- ◆2社合算の増収率(除く自賠責)は+0.6%と、中間期に引き続き増収
- ◆自動車保険は、料率改定効果などにより+0.6%
- <火災> 損保ジャパン:リテール商品の販売が好調であったこと等により増収  
日本興亜損保:ローン長期保険および大口契約の影響等により増収
- <傷害> 損保ジャパン:団体・企業向け商品を中心に増収
- <自動車> 両社共通:料率改定効果等により増収
- <自賠責> 両社共通:料率改定効果等により増収
- <その他> 損保ジャパン:賠償責任保険など大口契約の影響により減収

(単位:億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保			2社合算
	金額	増減	増収率	金額	増減	増収率	増収率
火災	1,096	+31	+3.0%	676	+8	+1.3%	+2.3%
海上	185	△5	△2.7%	101	△2	△2.7%	△2.7%
傷害	996	+21	+2.2%	389	△0	△0.0%	+1.6%
自動車	4,828	+17	+0.4%	2,396	+23	+1.0%	+0.6%
自賠責	1,314	+55	+4.4%	588	+24	+4.4%	+4.4%
その他	1,211	△21	△1.7%	618	△0	△0.0%	△1.2%
(うち賠償責任)	797	△4	△0.6%	328	+5	+1.6%	+0.0%
合計	9,633	+100	+1.1%	4,771	+54	+1.1%	+1.1%
合計(除く自賠責)	8,319	+44	+0.5%	4,182	+29	+0.7%	+0.6%

# 正味損害率(リトン・ペイド)(主要損保2社単体)

- ◆ 東日本大震災、台風12号・15号等の自然災害の影響により火災保険を中心に支払保険金が増加。(ただし、東日本大震災については、支払備金・異常危険準備金の取崩しにより、保険引受利益にはトータルでプラス影響。)
  - ◆ 東日本大震災を除くベースでも当年度発生自然災害の増加により、火災保険の損害率は上昇。
- <自動車保険> ・日本興亜損保では、損調子会社の吸収合併により保険金から損調費への振り替えが発生。

(単位:億円)

W/P損害率	損保ジャパン				日本興亜損保			
	正味支払保険金		正味損害率		正味支払保険金		正味損害率	
		増減		増減		増減		増減
火災	1,562	+1,146	146.1%	+105.3pt	1,129	+844	170.9%	+124.6pt
除く東日本大震災	672	+256	64.9%	+24.1pt	492	+207	76.7%	+30.4pt
海上	129	+20	74.1%	+13.3pt	46	+3	47.6%	+4.7pt
傷害	532	+17	58.4%	△0.1pt	217	△9	60.9%	△2.7pt
自動車	2,984	+51	70.9%	+0.2pt	1,533	△27	71.9%	△0.3pt
自賠責	1,195	+15	98.3%	△2.9pt	549	+6	99.5%	△2.3pt
その他	596	△340	53.4%	△27.2pt	325	+22	57.9%	+3.7pt
(うち賠償責任)	365	△21	49.9%	△2.6pt	163	+17	54.4%	+4.4pt
合計	7,001	+910	79.7%	+8.6pt	3,803	+840	86.1%	+17.8pt
合計(除く自賠責・金融保証損失・東日本大震災)	4,838	+234	65.2%	+2.3pt	2,595	+176	68.5%	+4.7pt

※除く金融保証損失は損保ジャパンのみ

# 東日本大震災の影響(主要損保2社単体)

東日本大震災に係る保険金支払いの進展に伴い、異常危険準備金取崩し益が発生

(単位:億円)

家計地震	損保ジャパン		日本興亜損保		合計	
	2010年度	2011年度 第3四半期	2010年度	2011年度 第3四半期	2010年度	2011年度 第3四半期
支払保険金	—	△712	—	△489	—	△1,202
支払備金積増／取崩	△89	+89	△61	+61	△150	+150
発生保険金	△89	△623	△61	△428	△150	△1,051
危険準備金取崩	+89	+623	+61	+428	+150	+1,051
保険引受利益	—	—	—	—	—	—

発生保険金と同額の危険準備金を取崩すため、損益は発生しない。(ノーロス・ノープロフィット)

(単位:億円)

家計地震以外	損保ジャパン		日本興亜損保		合計	
	2010年度	2011年度 第3四半期	2010年度	2011年度 第3四半期	2010年度	2011年度 第3四半期
支払保険金	△0	△231	△0	△168	△0	△399
支払備金積増／取崩	△385	+219	△193	+169	△579	+388
発生保険金	△385	△11	△194	0	△579	△10
異常危険準備金取崩	+0	+222	—	+166	+0	+388
保険引受利益	△385	+210	△194	+167	△579	+378

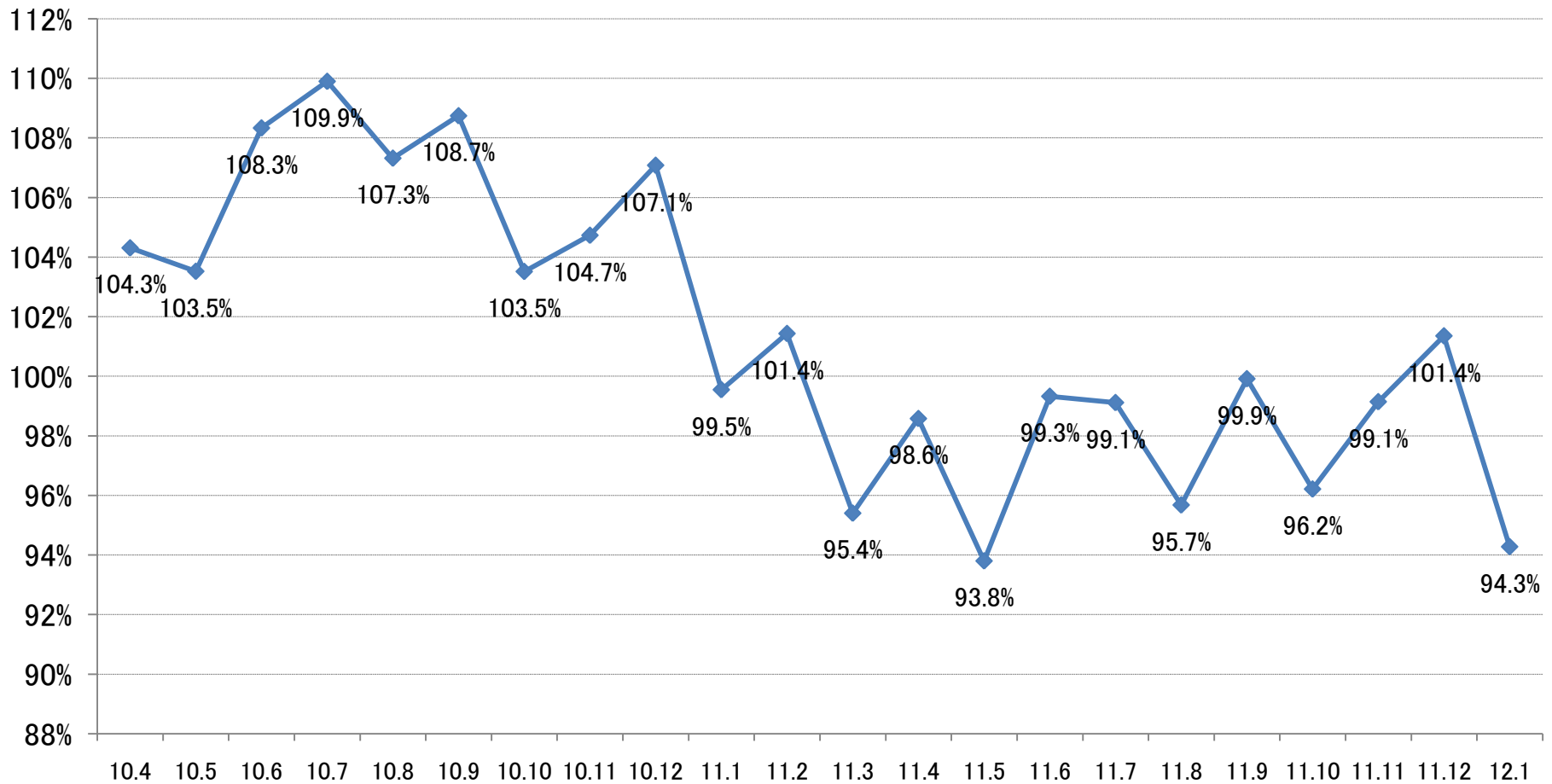
保険金支払額に見合う支払備金取崩し益を認識したため、今期の発生保険金は限定的。

保険金支払いに伴い、異常危険準備金の取崩しが発生したため、この額だけ保険引受利益はプラスになる。



# <参考> 自動車保険の事故受付件数

事故受付件数対前比(単月推移)



※ 損保ジャパン、日本興亜損保の単純合算値(除く東日本大震災、台風12・15号)

# 正味事業費率(主要損保2社単体)

事業費の削減が進展、正味事業費率は低下

日本興亜損保では、損調子会社の吸収合併により保険金から損調費(主に人件費)への振り替えが発生

(単位:億円)

## 正味事業費

	損保ジャパン			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
諸手数料及び集金費	1,651	+39	17.1%	+0.2pt
保険引受に係る営業費及び一般管理費	1,532	△51	15.9%	△0.7pt
合計	3,183	△11	33.1%	△0.5pt

	日本興亜損保			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
	813	+20	17.0%	+0.2pt
	838	△39	17.6%	△1.0pt
合計	1,651	△18	34.6%	△0.8pt

(単位:億円)

## 社費

	損保ジャパン			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
人件費	1,304	△43	13.5%	△0.6pt
物件費	899	△7	9.3%	△0.2pt
税金等	99	△7	1.0%	△0.1pt
合計	2,303	△57	23.9%	△0.9pt

	日本興亜損保			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
	672	+8	14.1%	+0.0pt
	463	△1	9.7%	△0.2pt
	51	△3	1.1%	△0.1pt
合計	1,187	+2	24.9%	△0.2pt

# 資産運用損益(主要損保2社単体)

資産運用粗利益は、株式評価損の増加が売却益を上回り、前年同期比で減少。

(単位: 億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保			2社合算
	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減	増減
利息及び配当金収入	627	600	△26	337	338	+0	△25
積立保険料等運用益振替	△293	△282	+10	△154	△142	+12	+23
ネット利配収入	334	318	△16	182	195	+13	△2
有価証券売却損益	26	221	+194	53	89	+36	+230
国内株式売却損益	21	209	+188	41	103	+62	+251
有価証券評価損	△61	△455	△394	△23	△36	△13	△407
国内株式評価損	△28	△417	△389	△19	△33	△14	△404
金融派生商品損益	85	41	△44	15	3	△11	△56
その他損益	△136	△94	+41	△26	△47	△21	+20
資産運用粗利益	249	29	△219	201	205	+4	△215

# 運用資産の状況(主要損保2社単体)

(単位:億円)

		損保ジャパン			日本興亜損保		
		2010年度末	2011年度 第3四半期	増減	2010年度末	2011年度 第3四半期	増減
積立勘定	円貨債券・貸付金等	11,718(27.8%)	11,482(30.0%)	△236(+2.2pt)	6,928(31.5%)	6,580(32.7%)	△348(+1.2pt)
一般勘定	円貨債券	5,762(13.6%)	5,011(13.1%)	△750(△0.5pt)	2,211(10.0%)	2,527(12.6%)	+316(+2.6pt)
	外貨債券	1,975(4.7%)	2,396(6.3%)	+421(+1.6pt)	2,268(10.3%)	1,764(8.8%)	△504(△1.5pt)
	(うちヘッジ外債)	1,372(3.2%)	2,112(5.5%)	+740(+2.3pt)	1,573(7.1%)	1,053(5.2%)	△519(△1.9pt)
	オルタナティブ・外株等	3,723(8.8%)	3,273(8.5%)	△450(△0.3pt)	847(3.8%)	764(3.8%)	△82(△0.0pt)
	貸付金	2,281(5.4%)	2,066(5.4%)	△215(+0.0pt)	646(2.9%)	647(3.2%)	+1(+0.3pt)
	国内株式	10,506(24.9%)	8,441(22.0%)	△2,064(△2.9pt)	5,677(25.8%)	4,818(23.9%)	△859(△1.9pt)
	子会社株式	2,835(6.7%)	2,362(6.2%)	△472(△0.5pt)	487(2.2%)	242(1.2%)	△244(△1.0pt)
	その他	3,414(8.1%)	3,290(8.6%)	△123(+0.5pt)	2,952(13.4%)	2,790(13.9%)	△162(+0.5pt)
	小計	30,498(72.2%)	26,842(70.0%)	△3,656(△2.2pt)	15,091(68.5%)	13,555(67.3%)	△1,536(△1.2pt)
運用資産残高		42,217(100.0%)	38,325(100.0%)	△3,892	22,020(100.0%)	20,136(100.0%)	△1,884

その他有価証券含み益(税引前)	4,553	3,052	△1,500	2,088	1,500	△587
(うち株式)	4,635	3,242	△1,393	2,074	1,371	△703

感応度	変動要素	損保ジャパン	日本興亜損保
金利	金利50bpの上昇による資産の増減	△470億円	△307億円
	金利50bpの上昇によるネット実質純資産の増減	+289億円	+62億円
為替	ドル円・ユーロ円10%の下落による外貨建資産の増減	ドル: △277億円、ユーロ: △21億円	ドル: △49億円、ユーロ: △9億円
株価	TOPIX10%の下落による国内株式の増減	△877億円	△417億円

国内株式の時価下落が主因。連結調整の影響が大。

＜2011年度第3四半期累計期間 有価証券評価損計上額＞

単位：億円

	損保ジャパン	日本興亜損保	その他	連結調整※	NKSJ連結
評価損計上額	455	36	13	601	1,108
うち上場株式	415	32	0	601	1,050

◎簿価から30%以上下落した銘柄は原則として全て評価損を計上。

※連結調整

- NKSJホールディングスの設立にあたり、企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用しており、上記「連結調整」は「パーチェス法」適用に伴う修正額。
- パーチェス法適用により、日本興亜損保の資産は経営統合時(2010年3月末)の時価が連結上の簿価となっている。

＜参考：日経平均株価推移＞

2010年 3月末	11,089円	
2011年 3月末	9,755円	
2011年 9月末	8,700円	
2011年10月末	8,988円	→通期業績予想の前提
2011年12月末	8,455円	
2012年 2月13日	8,999円	

## 政策株式

【目標】 2012年度までの3年間で時価3,000億円削減

- ◆ 2011年度第3四半期末のネット削減実績は706億円。売却予定銘柄のデリバティブによるヘッジを含めると、800億円弱のエクスポージャー圧縮を実現。
- ◆ 1月末のネット削減は837億円(ヘッジ込みでは872億円)と着実に進捗。

## <ネット削減額>

(単位:億円)

	2010年度 (実績)	2011年度 (計画)	2011年度 第3四半期末 (実績)
損保ジャパン	240	900	466
日本興亜損保	213	400	240
合計	453	1,300	706

※ ネット削減額 = 売却時価 - 購入時価

## GIIPSエクスポージャー

- ◆ エクスポージャーは限定的。
- ◆ イタリア国債を一部売却し、エクスポージャーをさらに圧縮。今後もタイミングをみて圧縮の方向。

<2011年12月末 GIIPS諸国発行国債への与信残高>  
(損保ジャパン、日本興亜損保、NKSJひまわり生命の合計)

国	残高(億円)
ギリシャ	—
アイルランド	—
イタリア	231
ポルトガル	—
スペイン	31

- ◆ 第三分野商品(医療・がん)の年換算保険料は、新契約・保有とも順調に拡大。
- ◆ システム等の合併費用(特別損失115億円)により赤字幅は拡大。

(単位:億円)

NKSJひまわり生命				
	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減	増率
新契約高	22,943	22,484	△458	△2.0%
新契約年換算保険料	278	274	△3	△1.4%
うち第三分野	108	113	+5	+5.2%

保険料等収入	2,576	2,625	+48	+1.9%
経常利益	5	△11	△16	-%
当期純利益	△17	△135	△118	-%

	2010年度末	2011年度 第3四半期末	増減	増率
保有契約高	162,013	173,218	+11,204	+6.9%
保有契約年換算保険料	2,758	2,837	+78	+2.9%
うち第三分野	938	1,000	+62	+6.6%

※契約高および年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。

※前年および2011年度上半期の数値は、損保ジャパンひまわり生命および日本興亜生命の合算値。

トップラインは増収、純利益はタイの洪水の影響により赤字を計上

(単位: 億円)

会社名	収入保険料			当期純利益			
	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減	
損保ジャパン	SJアメリカ	37	47	+9	6	8	+2
	SJヨーロッパ	13	13	+0	△1	2	+3
	SJシゴルタ(トルコ)		76	+76		10	+10
	SJシンガポール	13	13	△0	4	△212	△216
	テネット(シンガポール)	7	18	+10	1	1	+0
	ベルジャヤ(マレーシア)		34	+34		3	+3
	SJ中国	24	31	+6	△1	2	+3
	SJ香港	8	11	+3	△0	3	+3
	南米安田	94	93	△1	2	3	+0
	その他	260	262	+2	2	8	+5
	小計	460	601	+141(+30.8%)	14	△169	△183
日本興亜損保	NKヨーロッパ	6	6	+0	0	1	+1
	NKアジア	4	4	△0	△0	1	+1
	NK中国	1	2	+0	△0	△0	+0
	その他	△0	△0	+0	△1	△1	+0
	小計	13	14	+0(+6.7%)	△1	1	+3
合計	473	616	+142(+30.1%)	12	△167	△180	

※収入保険料は、連結子会社、持分法適用会社ともに、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。

※当期純利益は、持分割合反映後、連結修正前(シンガポールを除く)の数値。

※持分法適用会社は「その他」に含めている。

※「ベルジャヤ(マレーシア)」欄は、子会社化した後の6ヶ月分を表示。子会社化以前(持分法を適用)の分は「その他」に含めて表示。



当期損失および有価証券含み益の減少を反映し純資産は減少  
1株当たり修正連結純資産は3,840円

## 修正連結純資産(参考・暫定値)

(単位:億円)

	NKSJ連結				
	2010年度末		2011年度第3四半期末		増減
	金額(億円)	1株当たり(円)(※4)	金額(億円)	1株当たり(円)	金額(億円)
①連結純資産(※1)	10,743	2,588.02	8,172	1,969.26	△2,570
(うち、その他有価証券評価差額)	2,689	647.97	2,054	495.03	△635
②連結純資産(除く生保子会社純資産)	9,948	2,396.71	7,448	1,794.66	△2,500
③異常危険準備金(税引後)(※2)	4,222	1,017.16	3,925	945.93	△296
④価格変動準備金(税引後)(※2)	165	39.89	93	22.55	△72
⑤生保子会社EV(※3)	4,470	1,076.89	4,470	1,077.10	-
⑥合計(修正連結純資産)(②+③+④+⑤)	18,807	4,530.67	15,937	3,840.26	△2,869

※1:新株予約権と少数株主持分を控除。

※2:「税引後」は、各準備金残高から実効税率分を差し引いたもの。税引後の計算においては、損保ジャパン、日本興亜損保ともにそれぞれの単体の実効税率を用いている。

※3:生保子会社EVは年1回の開示であるため、2011年3月末の数値を使用。

※4:2011年10月1日付で普通株式4株を1株の割合で併合したため、併合後のベースに換算した株式数を用いて計算。

# 2011年度通期業績予想概況(NKSJ連結)

2012年1月27日修正

**NKSJ**  
HOLDINGS

タイの洪水、有価証券評価損、法人税率の引下げにより赤字を予想。配当予想は80円で据え置き。

(単位:億円)

	2010年度	2011年度(予想)	前期比増減
経常収益	26,216	28,080	+1,863
正味収入保険料	19,332	19,850	+517
生命保険料	2,381	2,390	+8
経常利益	△64	△450	△385
損保ジャパン連結	198	△120	△318
日本興亜損保連結	△6	45	+51
NKSJひまわり(下半期分のみ)		22	+22
その他・連結調整等(注1)	△256	△397	△140
当期純利益	△129	△1,000	△870
損保ジャパン連結	99	△630	△729
日本興亜損保連結	△71	△180	△108
NKSJひまわり(下半期分のみ)		△72	△72
その他・連結調整等(注1)	△157	△118	+39
1株当たり配当金	20円(注2)	80円	

(注1)NKSJホールディングスの設立にあたり、企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用している。上記「連結調整」の主なものは「パーチェス法」適用に伴う修正額。NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。(日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違。)従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がある。

(注2)2011年10月1日付で普通株式4株を1株の割合で併合したが、2010年度の配当金については、当該株式併合前の実績を記載している。

# 通期業績予想概況(主要損保2社単体)

2012年1月27日修正

**NKSJ**  
HOLDINGS

(単位:億円)

タイの洪水および税制改正の影響  
が当期純利益を下押し

## 損保ジャパン

## 日本興亜損保

	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
正味収入保険料	12,566	12,810	+243(+1.9%)
(除く自賠責)	10,901	11,059	+157(+1.4%)
正味損害率	72.5%	79.3%	+6.8pt
(除く金融保証損失・自賠責)	64.3%	76.0%	+11.7pt
正味事業費率	33.7%	33.1%	△0.6pt
(除く自賠責)	34.8%	34.7%	△0.1pt
コンバインドレシオ	106.2%	112.4%	+6.3pt
(除く金融保証損失・自賠責)	99.0%	110.7%	+11.7pt
保険引受利益	△97	△137	△39
資産運用粗利益	404	329	△75
経常利益	205	150	△55
当期純利益	121	△379	△500

	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
	6,206	6,240	+33(+0.5%)
	5,461	5,451	△10(△0.2%)
	69.6%	85.6%	+16.0pt
	65.0%	84.0%	+19.0pt
	35.8%	35.7%	△0.0pt
	37.2%	37.5%	+0.3pt
	105.3%	121.3%	+16.0pt
	102.2%	121.5%	+19.3pt
	△249	△230	+19
	284	287	+2
	△3	60	+63
	△64	△165	△100

### 【参考】修正利益

当期純利益	121	△379	△500
+)異常危険準備備金繰入額(税引後)	166	△191	△357
+)価格変動準備金繰入額(税引後)	37	23	△13
-)有価証券売却損益・評価損(税引後)	44	6	△37
-)特殊要因(税引後)	-	△314	△314
修正利益	280	△239	△519

	△64	△165	△100
	34	△259	△294
	18	19	+0
	57	72	+15
	-	△150	△150
	△67	△327	△259

※除く金融保証は損保ジャパンのみ

直近の状況を踏まえて、以下の前提を適用

	損保ジャパン	日本興亜損保
国内自然災害	350億円 ※東日本大震災による追加損失は見込まない	275億円 ※東日本大震災による追加損失は見込まない
タイの洪水 (概ね半分程度を年度内に支払うことを想定)	NKSJホールディングス連結決算負担額 経常利益△676億円 (正味発生損害額見込み1,013億円)	
	単体決算負担額: 206億円 (正味発生損害額見込み361億円)	単体決算負担額: 183億円 (正味発生損害額見込み365億円)
異常危険準備金	300億円の取り崩し(ネット) ※震災ペイド化による取り崩し318億円	405億円の取り崩し(ネット) ※震災ペイド化による取り崩し170億円
資産運用の前提	原則、株価は10月末、株価以外は12月末の相場水準を想定 <株価> 日経平均: 8,988円      <金利> 10年国債: 0.99% <為替> ドル円: 77円、ユーロ円: 100円	
利息及び配当金収入	グロス: 755億円    ネット: 411億円	グロス: 403億円    ネット: 215億円
有価証券売却損益	358億円	133億円
有価証券評価損	348億円	20億円
価格変動準備金	37億円の繰り入れ(ネット)	30億円の繰り入れ(ネット)
法人税減税	当期純利益減少額: △314億円	当期純利益減少額: △150億円
金融保証保険	30億円の損失	

発生損害額見込みは約1,000億円。  
異常危険準備金の取り崩しにより経常利益への影響は一部減殺される。

- 発生損害額見込みは、実地調査に基づき個別損害見込み額を積み上げた上で、アクチュアリーによる評価を元に一定の安全率を織り込んで算出。
- 国内損保会社では、今期中に半分程度のペイド化を見込む。

(単位:億円)

	発生損害額※2	うち当期中の 支払見込み	当期連結経常利益 影響額※3
損保ジャパン	361	155	206
日本興亜損保	365	182	183
海外子会社等※1	287		287
合計	1,013	337	676

※1 SJシンガポール、SJタイランドなど。

※2 再保険回収後のネット数値。グロス損害額は約2,600億円を見込む。

※3 損保本体で当期中に支払いが行われた部分については異常危険準備金の取り崩しが行われるため、経常利益への影響はその分減殺される。

2011年度当期純利益には380億円のマイナス影響。

- 2012年度より実施される税制改正により、法人税率が2段階で引き下げられることとなった。
- これにより、将来回収税金である繰延税金資産の計上額を減額修正する必要が生じ、当期純利益のマイナス要因となる。
- 一方で、繰延税金負債の計上額も減額され、生保の保有契約価値も増加するため、修正連結純資産にはネットでプラスの効果。

## <損保2社の実効税率への影響>

	現行	2012/4~	2015/4~
実効税率	36.1%	33.2%	30.7%
引き下げ幅		△2.9%	△5.4%

## <2011年度通期業績への影響額>

単位:億円

	経常利益	当期純利益
損保ジャパン	+102	△314
日本興亜損保	+50	△150
NKSJひまわり生命	-	△39
パーチェス修正	-	+123
NKSJ連結	+152	△380

### 【パーチェス修正】

経営統合時、日本興亜損保の株式等の含み益を株主資本に繰り入れた際に計上した繰延税金負債が減額される分、当期純利益のプラス要因となる。

### 【自賠償・地震保険に係る取扱い】

自賠償、地震の有税の責任準備金に係る繰延税金資産については、ノーロス・ノープロフィットの原則に基づき繰延税金資産の減額に伴い同額の責任準備金戻入を計上するため、経常利益が増加する。(当期純利益への影響はない)

通期でも増収に転じる

## 正味収入保険料

(単位:億円)

	損保ジャパン			
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	増収率
火災	1,412	1,471	+58	+4.2%
海上	253	241	△12	△4.9%
傷害	1,271	1,319	+47	+3.7%
自動車	6,399	6,476	+76	+1.2%
自賠責	1,665	1,751	+85	+5.1%
その他	1,563	1,552	△11	△0.7%
(うち賠償責任)	994	976	△17	△1.7%
合計	12,566	12,810	+243	+1.9%
合計(除く自賠責)	10,901	11,059	+157	+1.4%

	日本興亜損保			
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	増収率
	895	884	△11	△1.3%
	140	138	△2	△1.5%
	496	488	△8	△1.7%
	3,148	3,157	+8	+0.3%
	744	789	+44	+5.9%
	780	784	+3	+0.5%
	399	408	+8	+2.2%
合計	6,206	6,240	+33	+0.5%
合計(除く自賠責)	5,461	5,451	△10	△0.2%

自然災害の影響を踏まえ、火災保険を中心に損害率の悪化を織り込む

## W/P損害率

(単位:億円)

	損保ジャパン					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
火災	560	1,905	+1,344	41.6%	131.8%	+90.3pt
海上	137	170	+32	58.1%	74.7%	+16.6pt
傷害	688	697	+8	59.4%	57.8%	△1.5pt
自動車	3,981	4,005	+23	72.0%	71.4%	△0.6pt
自賠責	1,551	1,558	+6	100.8%	96.0%	△4.8pt
その他	1,260	897	△363	85.5%	62.7%	△22.8pt
(うち賠償責任)	516	498	△18	56.5%	55.5%	△0.9pt
合計	8,179	9,232	+1,052	72.5%	79.3%	+6.8pt
合計 (除く自賠責)	6,628	7,674	+1,045	68.2%	76.7%	+8.5pt
合計 (除く金融保証損失・自賠責)	6,202	7,597	+1,394	64.3%	76.0%	+11.7pt

	日本興亜損保					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
火災	392	1,344	+952	47.5%	156.3%	+108.9pt
海上	57	79	+22	42.4%	59.5%	+17.2pt
傷害	297	284	△13	65.0%	63.9%	△1.1pt
自動車	2,101	2,046	△55	72.9%	73.0%	+0.2pt
自賠責	714	709	△4	103.2%	96.8%	△6.4pt
その他	412	458	+46	57.4%	63.4%	+6.0pt
(うち賠償責任)	199	215	+16	53.5%	56.5%	+3.0pt
合計	3,974	4,922	+948	69.6%	85.6%	+16.0pt
合計 (除く自賠責)	3,260	4,213	+952	65.0%	84.0%	+19.0pt



タイ洪水の影響は国内損保事業・海外保険事業の両方に及ぶ

(単位:億円)

		2010年度(実績)	2011年度(予想)
国内損保事業  ( 損保ジャパン単体 + 日本興亜損保単体 )	当期純利益	56	△544
	+異常危険準備金積増額(税控除後)	201	△450
	+価格変動準備金積増額(税控除後)	56	42
	-有価証券売却損益(税控除後)	167	313
	-有価証券評価損(税控除後)	△66	△235
	-特殊要因	-	△464
	修正利益	212	△566
国内生保事業	修正EV増加額	598	300
海外保険事業	財務会計上の当期純利益	24	△200
金融サービス事業等	財務会計上の当期純利益	△27	△52
修正連結利益		807	△518
修正連結ROE		4.2%	-

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## IR関係連絡先

### NKSJ ホールディングス株式会社 経営企画部

電話番号	: 03-3349-3913
Fax	: 03-3349-6545
E-Mail	: shinichi.hara@nksj-hd.co.jp (原) takashi.izuhara@nksj-hd.co.jp (伊豆原) naoko5.takahashi@nksj-hd.co.jp (高橋)
Web	: <a href="http://www.nksj-hd.com/">http://www.nksj-hd.com/</a>